

のリファイニングの マンションを見る

(株)青木茂建築工房(青木茂氏主宰)は3月28日、福岡県大野城市で、同社が設計したマンションのリファイニング

・66平方メートル。駅から徒歩圏内という好立地だが、老朽化、間取りの悪さなどの理由で、改修直前には入居者は全40戸のうち、9戸までになっていた。こうした現状を打開するために、リファイニングを決定した。

内容は、エレベーターとエントランスホールの増築、間取り・設備・外装の更新。この建物は、旧耐震設計基準下で建てられていたが、耐震診断でI S値が規定値以上であることがわ

かった。建築確認申請をしたのは増築部分のみで、既存建築物とはエキスパンションジョイントを介して接続している。

また、竣工当時は施行さ

内外装ともに一新

機能性も大きく向上

ング建築完成見学会を開いた。九州各県から建築士、建設会社関係者など約50人が参加。

このマンションは、築38年の5階建て延べ2376

状態を打開するために、リファイニングを決定した。

内容は、エレベーターとエントランスホールの増築、間取り・設備・外装の更新。この建物は、旧耐震設計基準下で建てられていたが、耐震診断でI S値が規定値以上であることがわ

かっていた。建築確認申請をしたのは増築部分のみで、既存建築物とはエキスパンションジョイントを介して接続している。

また、竣工当時は施行さ



グレーチングを利用したスクリーンを設置

西日対策、風通しと採光を確保できるようにした。敬遠されがちな1階の部屋には、専用の庭を設け付加価値を創出している。

ストの低減にもつなげている。

バルコニー面には、グレーチングを利用したルーバースタイルのスクリーンを設置し、周りからの視線緩和、

(昭和8年竣工)を図書館に改修するための基本・実設計、門司の旧料亭「三宜楼」(同5年竣工)の補修工事実設計なども現在手がけている。

同社は、このマンション以外にも、北九州市の旧戸畑区役所